

久留米西高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科:(家庭)科目:(家庭総合) 対象:(第3学年1組～5組)

教科担当者:芝野(2・4組)・樋口(1・3・5組)

使用教科書:家庭総合 パートナーシップでつくる未来(実教出版)

使用教材:生活ハンドブック(第一学習社)

	指導内容	家庭総合の具体的な指導目標	評価の観点 方法	予定 時数
4月	第1編/1章自分らしく生きる ・自分を見つめる ・青年期を生きる	・自分自身を知り、人の一生について考えるさせる。 ・どのような青年期を生きるか考えさせる。	定期考査の他に、提出物、出席状況、授業態度など複数の評価を併せて、総合的に判断する。	6
5月	2章家族とかかわって生きる ・パートナーと出会う ・家族とは ・家族と法律 ・生活時間	・結婚家族家庭について学習し、家族の抱える課題について考えさせる。 ・家族の法律を学習させる。 ・生活時間からみた現在の課題を理解させる。		6
6月	3章子供とかかわって生きる ・みんなで育てる ・生命の誕生 ・心身の発達	・保育を学ぶ意義について理解させる。 ・子どもの誕生、子どもの心身の発達と環境の関わりを理解させる。 ・子供の生活や遊びについて理解させる。 ・家庭保育や集団保育、子育てのための社会的支援について理解させる。		8
7月	・子どもの生活習慣 ・健やかに育つ環境権利			
9月	4章高齢者とかかわって生きる ・高齢社会の現状 ・高齢者の心身の変化 ・高齢者の暮らし ・高齢者を支える介護	・高齢社会の現状と課題について理解させる。 ・高齢者の心身の特徴や生活について理解させる。		4
	5章社会とかかわって生きる ・社会保障制度のしくみ	・社会保障制度について理解させる。		2
10月	第3編/1章消費行動を考える ・契約社会と消費者 ・消費者の権利と責任 ・資源環境を考える 2章経済的に自立する ・家庭の経済とは ・人生設計と経済設計 ・家計の管理	・契約、販売方法や支払い方法、問題商法について理解させる。また、被害にあった場合の解決方法について理解させる。 ・収入や支出、予算の必要性について理解させる。 ・生活設計と関わらせて長期の経済設計の必要性について理解させる。		8
11月	第2編3章住生活をつくる ・人と住まいのかかわり ・快適な住まいづくり ・健康で安全な住まい環境	・住まいの機能や歴史について学ばせる。 ・ライフステージやライフスタイルに応じた住生活の計画をさせる。 ・平面図の読み取りができるようにする。 ・家庭内事故や災害について学習させる。 ・住生活の現状や住宅政策を理解させる。		8
12月	・よりよい住生活を創造するために			
1月	生活設計 ・これからの人生 ・社会人としてのつきあい ・防災と防犯 など	・自立について考えさせる。 ・マナーについて学ばせる。 ・2年間の学習内容を生かして、自分らしい生き方を設計させる。		6